

兵庫県職員ガイダンス

2月9日、13日 全体説明

人事委員会事務局任用課

Contents

- 01 兵庫県庁で働く魅力
- 02 兵庫県庁はどんなことをしている
- 03 兵庫県庁での勤務
- 04 採用試験の概要
- 05 兵庫県庁を知るために

- ① スケールの大きな仕事も
県民・地域に密着した仕事も経験可能
- ② 柔軟な働き方が可能

兵庫県庁で働く魅力①

国・都道府県・市町村の違い

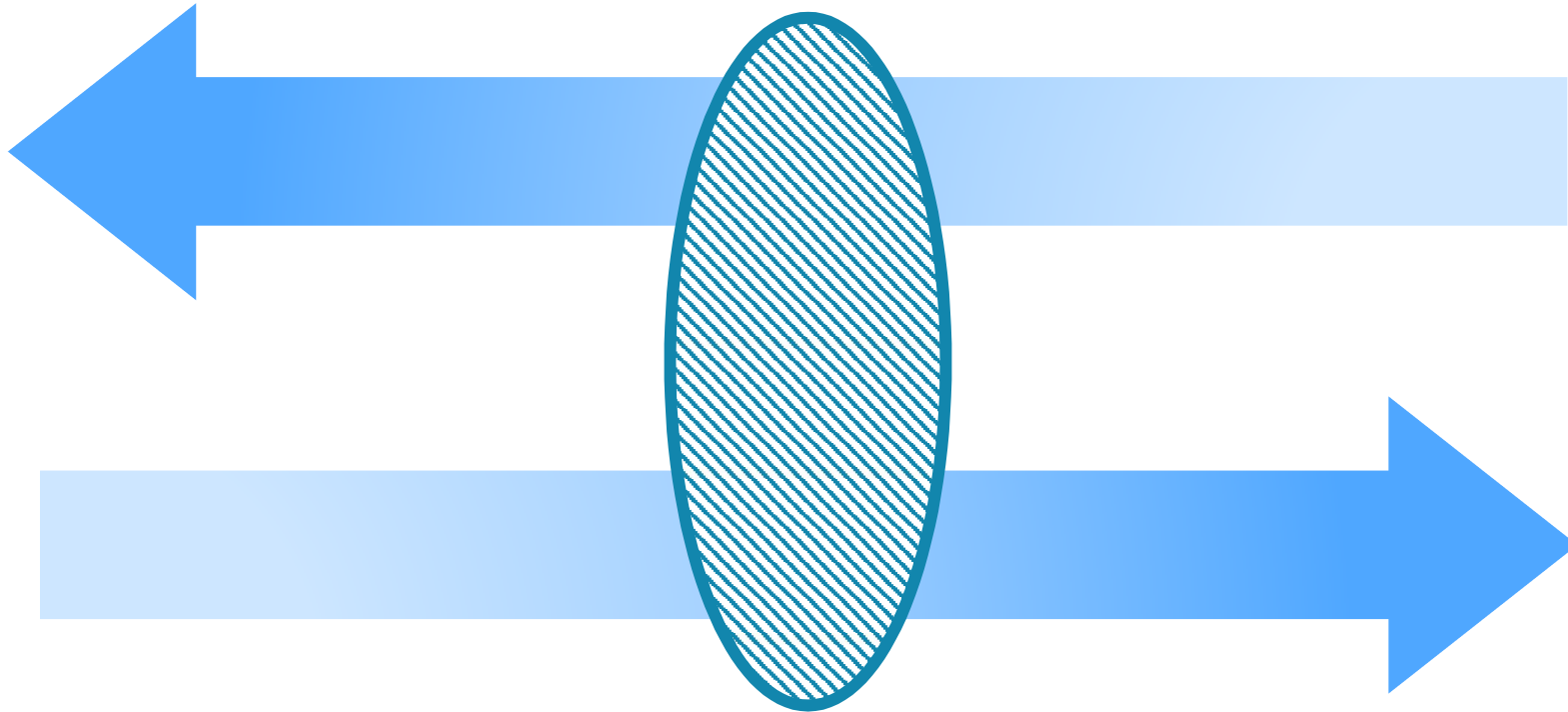
国

都道府県

市町村

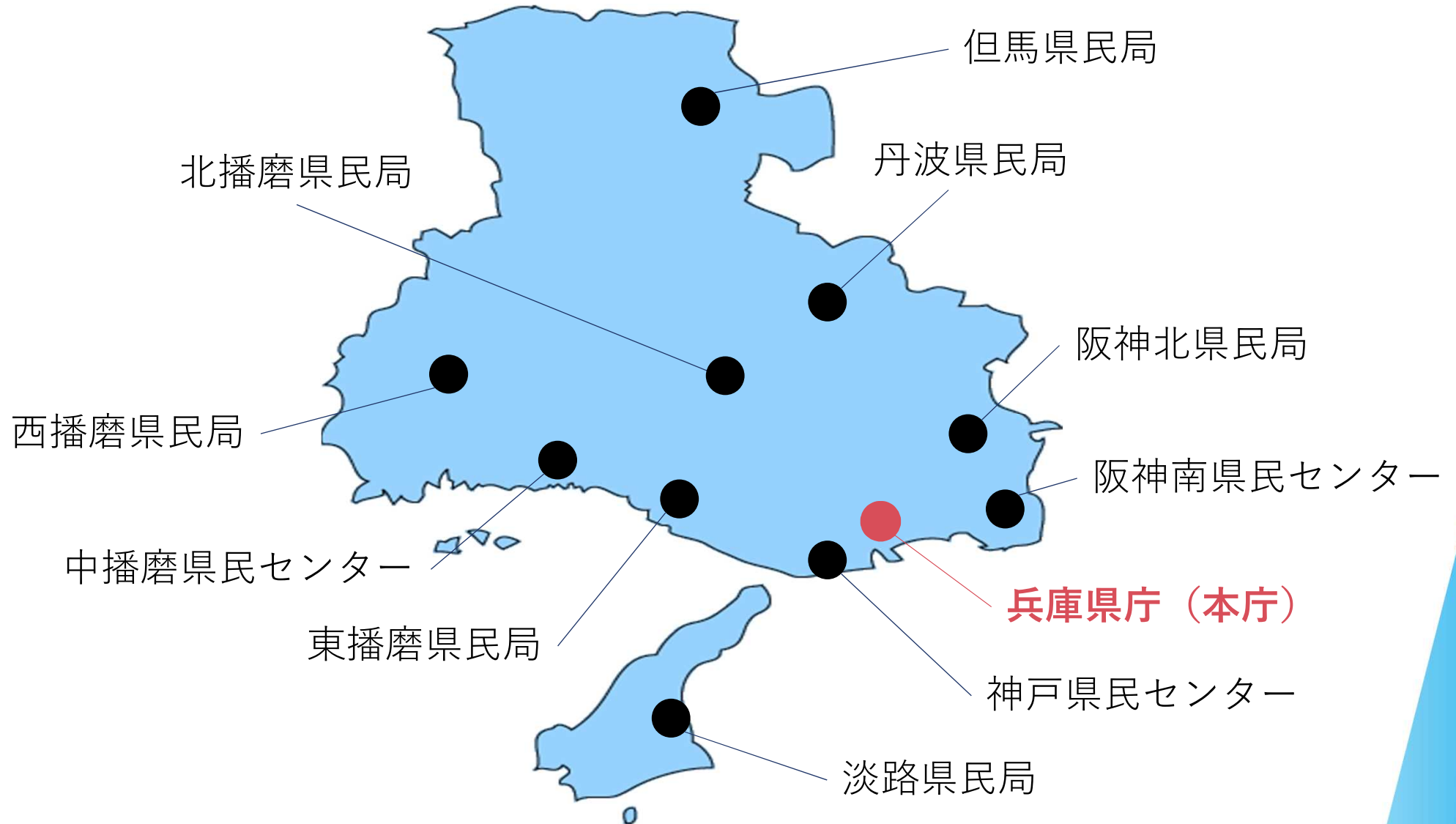
事業
規模

地域
密着



兵庫県庁で働く魅力①

勤務地



兵庫県庁で働く魅力①

本庁、県民局・県民センターの違い

● 本庁

多様で幅広い業務内容（**広域的行政**）

- 市区町村の区域を越える業務
- 国と市町との調整業務
- 都道府県全体で統一すべき業務 等

例）総合開発計画、産業立地、予算編成 等

→ スケールの大きな仕事ができる

● 県民局・県民センター

直接県民に対応する業務内容（**基礎的行政**）

- 県税の収税・課税業務
- 道路・河川・港湾に係る用地買収、公物管理業務
- 生活保護、介護福祉施設の監査、保健所業務

→ 県民・地域に密着した仕事ができる

兵庫県庁で働く魅力②

柔軟な働き方

● 勤務時間

- 7時間45分
- 原則として、月曜～金曜の完全週休2日制
- **4つの勤務形態から選択**し勤務可能
 - E勤) 8:15～17:00
 - A勤) 8:45～17:30
 - B勤) 9:00～17:45
 - L勤) 9:30～18:15

< R4実績 >

月平均超過勤務時間：10.2時間

● 休暇

- 年次有給休暇：年間20日（4月新規採用者は年間15日）
- 夏季休暇：年間5日
- 子育て支援休暇：年間5日（義務教育終了前の子が2人以上の場合10日）
- 結婚休暇：5日
- 産前・産後休暇
- 配偶者の出産補助休暇

< R4実績 >

年次有給休暇平均取得日数：10.6日

兵庫県庁で働く魅力②

柔軟な働き方

● 育児休業

子が3歳になるまで休業できます。

取得率：女性 100%

男性 61.4%（希望者の100%）

● 育児部分休業

子が小学校に入学するまでの間、1日につき2時間まで部分休業できます。

● 育児短時間勤務

子が小学校に入学するまでの間、勤務時間を短縮できます。

● フレックスタイム制

すべての職員が実施でき、勤務時間を柔軟に割り振りすることができます。

● 介護休暇

要介護者を介護するために6月以内で取得できます。

● 在宅勤務

すべての職員が実施できます。

<R5.4月時点>

採用者に占める女性割合：45.5%

女性管理監督職比率（本庁班長・主幹相当職以上）：22.1%

兵庫県庁で働く魅力②

新しい働き方モデルオフィス

生産性の向上 × 職員の働きがいの向上

2つを両立させる新しい働き方に、
すべての職員が挑戦トライアルの場

- 大胆なテレワークの実施
出勤率4割への挑戦<公務部門 全国初>
- オープン(間仕切りのない)オフィス採用
- フリーアドレスによる柔軟な働き方
- デュアルモニター設置等によるペーパーレス推進
- 書棚の台数縮減によるストックレス推進



兵庫県庁はどんなことをしている

令和6年度予算編成

[県政改革方針の基本方針]

- ① 躍動する兵庫の実現
 - オープンな県政の推進
 - 「誰も取り残さない」県政の推進
 - 県民ボトムアップ型県政の推進
- ② 持続可能な行財政基盤の確立
- ③ イノベーション型行財政運営の実現
 - 「ビルド」を重視した行財政運営
 - 成果を重視した施策立案手法の導入
 - 透明性向上のための外部評価の積極的活用

重点施策

若者・Z世代 応援パッケージ

- 県立大学の無償化事業
- 奨学金返済事業の拡充
- 不妊治療支援の充実
- 子育て世代が住みやすい住宅政策プロジェクト

大阪・関西万博開催 に向けた取組

- テーマウィークの設定による魅力発信
- 「子どもの夢」プロジェクト
- フィールドパビリオンの展開

兵庫サステナブル事業

- カーボンニュートラルシティの実現
- 中小企業を中心とした県内企業の脱炭素化支援

兵庫県庁での勤務 勤務条件

● 初任給（大学新卒者）

221,000円程度

（給料＋地域手当、神戸市内勤務の場合）

- 経歴に応じて加算
- 地域手当は勤務地によって異なる（4.4～9.4％）
- 昇給は年1回

● 手当

- 扶養手当
- 住居手当
- 通勤手当
- 超過勤務手当
- 期末・勤勉手当（R5実績：4.50か月分）
など

● キャリア



※職名はR6.4～予定

兵庫県庁での勤務 研修制度

● 新任職員研修

県職員としての意識・心構えの確立を図るとともに、新任職員として必要な基礎的知識の習得や職務遂行能力の向上を図る。

● 階層別研修

若手、中堅など経験年数等に応じ必要な能力の向上を図る。

● OJT指導

新規採用職員一人一人にマン・ツー・マン指導員がつき、業務に必要な知識や技法を丁寧に指導。

● キャリアチャレンジプログラム

庁内公募で選考された職員が、希望する役職や所属に異動することでスキルアップやキャリア形成の実現に役立てる。

〔海外・国内大学院、国の各省・他県、民間企業等への派遣〕

● マルチワークプログラム

短期間の庁内インターンにより希望部署の業務経験からキャリア形成に役立てる。

● 特別研修

政策形成、行政法・民法、リスクマネジメントなど、職員が高めたい知識・スキルに応じた研修を選択できる。

兵庫県庁での勤務 異動例

- 幅広い業務に対応できる人材の育成
- 行政的な視点と県民感覚を有するバランスのよい人材の育成
- 特定分野のスペシャリストとして活躍する人材の育成

1～2年目

3～5年目

6～8年目

9～11年目

本庁

地方

本庁

地方

地方

本庁

地方

本庁

本庁・事業課や地方・事務所等に配置

県の仕事の流れをまずは経験
県民の行政ニーズを肌で感じる

本庁・地方の中核に配置

専門性を深め、中核職員としての職責を果たす

兵庫県庁での勤務

勤務地への配慮

- 居住地から**90分以内の通勤**が原則。
- 結婚や子供など親族の状況を確認し、**家庭事情等に配慮**。
- **年1回**、希望する勤務地や職務を**申告する機会**あり。
- 転居を伴う異動については、
 - ①独身：一度は土地勘のない地域に配属されることが多い。
 - ②管理職：家庭事情を考慮しつつ、地方機関への配属になることも。
- 異動により転居の場合、距離に応じて**赴任旅費**を支給。
- **職員公舎、住居手当**（家賃の概ね半額、上限28,000円）あり。

異動の度に引っ越ししている訳ではない

最初の配属先は、採用試験最終合格後に面談を実施。

面談で聴取した希望の仕事内容や勤務地を考慮して配属先が決定。

採用試験の概要

技術系職種（大卒程度）**● 最終合格者数（R5年度実績）**

春日程・・・児童福祉司（12名）、心理判定員（5名）、農学職（18名）、林学職（6名）、水産職（3名）、環境科学職（3名）、総合土木職（27名）、建築職（4名）、機械職（3名）、電気職（3名）、保健師（10名）、薬剤師（35名）

秋日程・・・児童福祉司（2名）、林学職（4名）、水産職（2名）、総合土木職（2名）、保健師（2名）、薬剤師（1名）

● 受験資格（R6年度）

年齢・・・保健師及び薬剤師：2025年4月1日現在における年齢が27歳以下の人

上記以外：2025年4月1日現在における年齢が22～27歳以下の人

国籍要件・・・日本国籍を有しない人も受験可能

欠格事項・・・地方公務員法第16条の各号に該当する等の場合は受験できません

資格要件・・・児童福祉司、心理判定員、環境科学職、保健師、薬剤師は、資格を有する人、又は見込みの人に限る

採用試験の概要

技術系職種（大卒程度）

筆記試験

- **専門試験**：各職種に必要な専門知識＜記述式（※）＞

（※）記述式による出題について

[「職員採用ポータルサイト」](#) > [「採用試験」](#) > [「トピックス」](#) > [「記述式による出題について」](#)

面接試験

- **個別面接**：30～40分程度／若手職員及び幹部職員が試験員
- **適性検査**：職務の遂行に必要な適正について検査 [対策不要]

出題範囲の詳細は、[R5年度の試験案内](#)を参考にしてください。

採用試験の概要

試験日程（R5年度実績）

区分	春日程	秋日程
受付期間	3月13日～4月7日	8月21日～9月15日
筆記試験	4月23日	10月1日
筆記合格発表	5月12日	10月13日
面接試験	5月22日～6月2日	10月23日～11月2日
最終合格発表	6月16日	11月10日

採用試験の概要

兵庫県の求める職員像

① 県民本位

誠実に県民の信頼に応える姿勢

② ダイバーシティ & インクルージョン

県民や職員の多様な声を大切にし、活発な議論を重ねる姿勢

③ リ・チャレンジ

失敗しても諦めない姿勢、前例に捉われず、柔軟な発想で挑戦する姿勢

④ ネットワーク

職員間のチームワークはもちろんのこと、庁外にもネットワークを広げ、多様な主体と連携・協力する姿勢

⑤ 成長

常に努力を続けて変化に対応する姿勢、また自身の成長と同様に、部下や後輩職員の成長にも力を注ぐ姿勢

上記以外にも、みなさんの強みを面接でアピールしてください

兵庫県庁を知るために

採用サポーター制度

- 県庁のリアルな姿や雰囲気を知ってもらうため、県庁の業務に興味のある高校生・大学生等に対し、**若手職員と1対1で直接対話し、県庁を体感**できる制度
- **通年実施**（採用試験受験申込者は一次面接から最終面接の期間除く）

【募集職種】

総合事務職、農学職、林学職、水産職、環境科学職、総合土木職、建築職、機械職、電気職、保健師、薬剤師、栄養士、獣医師

希望職種・分野・日時等
を申し込み



採用サポーター（若手職員）
との面談・職場見学
<リアルな情報・体感を提供>

採用サポーター制度 申込方法

[「職員採用ポータルサイト」](#) > [「説明会」](#) > [「採用サポーター制度」](#)



Hyogo
Prefecture

